

目次

巻頭言 研究所報第4号の発刊に当たって

5

濟生会保健・医療・福祉総合研究所 所長 炭谷 茂

研究部門活動成果

濟生会病院の急性期入院患者数の2045年までの将来予測 7

山口 直人・見浦 継一・藤本 賢治・松原 了

看取りにおける家族間葛藤の課題解決に向けた職員の取り組み 19

一介護老人福祉施設へのインタビュー調査から
原田 奈津子

濟生会高齢者福祉施設・児童福祉施設における服薬等に関する調査 27

～薬剤部への調査～

植松 和子・曾我部 直美・菅野 浩・大槇 昌文・柴崎 智行・森本 尚俊・
田畠 襄・原田 奈津子・山口 直人・松原 了

濟生会高齢者福祉施設・児童福祉施設における服薬等に関する調査 37

～福祉施設への調査～

曾我部 直美・植松 和子・菅野 浩・大槇 昌文・柴崎 智行・森本 尚俊・
田畠 襄・原田 奈津子・山口 直人・松原 了

プロトコールに基づく薬物治療管理（PBPM）について 50

一濟生会病院薬剤師会と濟生会総研によるアンケート事例調査一

石合 徹也・植松 和子・曾我部 直美・菅野 浩・高橋 一栄・槇林 智子

介護・福祉施設における利用者および家族の満足度に影響を与える
因子の検討 57

見浦 継一・山口 直人・松原 了

研究部門活動成果（続き）

福祉施設における経営幹部職員の養成に関する研究 65

鈴木 孝尚・原田 奈津子・松原 了

なぜ、済生会は臨床研修、臨床実習に向き合う必要があるのか 79

船崎 俊一・山口 直人・竹田 玄一

医療機関の現状と将来推計—済生会富山病院— 94

藤本 賢治・山口 直人・松田 晋哉

人材開発部門活動記録

令和4年度 看護部長・副学校長研修	117
令和4年度 訪問看護ステーション管理者研修	118
第47回 臨床研修指導医のためのワークショップ	119
令和4年度 済生会全国次世代指導者研修	120
令和4年度 済生会地域包括ケア連携士養成研修会	121
第48回 臨床研修指導医のためのワークショップ	122
令和4年度 初期研修医のための合同セミナー	123
令和4年度 臨床研修管理担当者研修会	124
令和4年度 MSW・生活困窮者支援事業研修会	125
令和5年度 看護部長・副学校長研修	126
令和5年度 訪問看護ステーション管理者研修	127
令和5年度 訪問看護ステーション管理者 初級研修・アドバンス研修	128
令和5年度 看護部長臨床心理研修	129
令和5年度 認知症ケア研修	130
令和5年度 エンドオブライフケア研修	131
令和5年度 副看護部長研修	132
第49回 臨床研修指導医のためのワークショップ	133
令和5年度 看護師長研修	134
令和5年度 済生会地域包括ケア連携士養成研修会	135
令和5年度 新任看護師長研修	136
令和5年度 訪問看護ステーション臨床心理研修	137
令和5年度 アドバンス・マネジメント研修IV	138
第50回 臨床研修指導医のためのワークショップ	139
令和5年度 薬剤部（科・局）長研修会	140

巻頭言 研究所報第 4 号の発刊に当たって

済生会保健・医療・福祉総合研究所
所長 炭谷 茂

ここに済生会総合研究所報第 4 号を発刊できますことは大変嬉しく思います。

済生会総研は、平成 29 年 2 月 25 日に発足し、7 年余が経過しました。

この間新型コロナ感染が令和 2 年 2 月に国内で始まり、その後猛威を振るいましたが、日本の政治や行政では新型コロナ対策が最大の課題でした。本研究所でも重点的に研究を行い、前号では新型コロナに関する研究について特集を組み、発刊しました。

新型コロナは、いずれ終息していきますが、新型コロナの蔓延と時期を合わせ、世界の歴史は大きく変化しました。変化は、国際政治、経済、社会、文化、科学技術等あらゆる分野に及んでいますが、今が、歴史の転換期であることを表していると思います。

この中であって医療、介護、福祉など本研究所の研究対象も同様であります。少子超高齢社会の到来、世帯の縮小、医学の著しい発展、AI をはじめ情報化の進展、財政構造の悪化、人手不足などにより私たちが経験したことのない事態が次々に発生しています。そのうえその変化のスピードは、大変早いです。

このためこれらに対する対策は、前例のないものになり、英知を結集し、解を求めての研究が必須であります。まさに本研究所は、この役割を率先して担っていきたいと思います。

今回第 4 号は、本研究所の研究者が最近まとめた研究論文ではありますが、いずれも現場での経験を踏まえた実践的な内容になっています。済生会のみならず多くの関係者の参考になれば幸いです。